

授業科目

検査技術実習

担当教員名 長濱 大輔、尾崎 京子、三嶋 行雄、川村 宏樹、渡邊 博昭、池上 喜久夫、大山 富三、 浅井 孝夫	対象学年	1	対象学科	臨床
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	45

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎			○	◎

授業の概要

臨床検査で汎用される器具・検査機器・分析機などの使用目的、原理そして方法などについて技術習得する。また溶液作製を通じて、化学的計量方法を学ぶ。それから検査のための基本的採血手技をシュミレーション体験する。

授業の目的

臨床検査を行うにあたって、必ずや使用される機器類の使用方法を通じて、使用する実験室の種類と管理、機器・器具の配置、5S(整理、整頓、清潔、清掃、しつけ)などについて体験する。

学習目標

- 1.採血の手技ができる。
- 2.化学容量器を操作できる。
- 3.秤量装置を操作できる。
- 4.遠心分離装置を操作できる。
- 5.滅菌装置を操作できる。
- 6.測光装置を操作できる。
- 7.顕微鏡装置を操作できる。
- 8.電気化学装置を操作できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1-2	オリエンテーション、レポートの書き方、実習前心得、レポート作成要領など	講義・実習	長濱 大輔 他
3-4	滅菌、廃棄物など	講義・実習	尾崎 京子 他
5-6	遠心機、恒温槽など	講義・実習	川村 宏樹 他
7-8	採血シュミレーター	講義・実習	渡邊 博昭 他
9-10	ガラス器具類	講義・実習	浅井 孝夫 他
11-12	pHメーター、天秤など	講義・実習	三嶋 行雄 他
13-14	分光光度計、マイクロピペットなど	講義・実習	浅井 孝夫 他
15-16	試薬調整	講義・実習	池上 喜久夫 他
17-18	顕微鏡	講義・実習	長濱 大輔 池上 喜久夫 他
19-20	まとめ1		長濱 大輔 他
21-22	まとめ2		長濱 大輔 他
23	まとめ3		長濱 大輔 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料	配布資料					

評価方法

実技試験100%
実習中に実技をチェックして評価する。

履修上の留意点

実習を受講するにあたっての基本的な手技を習得すること。慎重に行わないと危険を生じる可能性もあるので、担当教員の指示をしっかりと理解して臨むこと。注意しても危ないと担当教員が判断した場合、実習に参加できないことがある。

オフィスアワー・連絡先

nagahama@nuhw.ac.jp